

再エネ等を導入することで災害時に役立った事例 -令和元年房総半島台風-

- 令和元年9月に発生した台風15号において、千葉県内で大規模停電が発生。
- 環境省補助事業の支援を受け、避難施設等に再エネ設備等を導入した自治体において、停電時にも電力が供給され、台風の翌日から避難施設としての機能が発揮された。

千葉県木更津市

施設名 : 道の駅「うまきたの里」
導入設備 : 太陽光、蓄電池

<災害時の活用状況>

・停電時にも電力が供給され、台風の翌日から避難施設としての機能が発揮された。

道の駅「うまきたの里」における設置状況



※平成27年度再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業（環境省）を活用

千葉県睦沢町

場所 : むつざわスマートウェルネスタウン
導入設備 : 太陽光、太陽熱温水器、ガスコジェネ

<災害時の活用状況>

・道の駅の温泉施設において、停電で電気・ガスが使用できない周辺住民に対し、温水シャワー・トイレ・携帯電話充電の無料提供。

道の駅の様子



出典: CHIBA むつざわエネルギーウェブサイト
プレスリリース

長蛇の列となった温泉施設



出典: ANN NEWS

※「地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金（分散型エネルギーシステム構築支援事業）」及び「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（民間事業者による分散型エネルギーシステム構築支援事業）」を受けて実施